

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	265	学校名	仙台市立広陵中学校	校長名	松本 宏子
------	-----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

「熊ヶ根駅清掃と地域美化活動」



2 取組の紹介

本校は、青葉区の西に位置し、平成13年に大倉中学校と熊ヶ根中学校が統合し、仙台市初の統合中学校として開校しました。真向かいには、仙山線の熊ヶ根駅があります。無人駅ですが、地元住民の通勤、通学手段の要となっています。

熊ヶ根中学校の時代から続く伝統的な活動として、熊ヶ根駅の清掃活動があります。生徒会の声掛けで、学校から清掃用具を持参し駅舎内外を箒で掃き、窓や壁、ベンチなどを水拭きします。ホームや駅舎周辺は、ゴミ拾いをします。他にも地域貢献活動の1つとして、プランターに花を植え、駅や保育所、警察署などにも自分たちの手で花を届ける活動をしています。例年、冬場は、駅前の雪かきを行うこともあります。



3 取組の成果

長年継続している熊ヶ根駅清掃活動や花を届ける活動は、地域の方々や、駅を利用する方々に広く知られるようになり、感謝の言葉を多く頂きます。過去には、東日本旅客鉄道株式会社から感謝状が贈呈されました。また、年々ゴミのポイ捨てが減ってきていることを実感しています。生徒の生き生きと掃除をする姿が、駅利用者のマナー向上への意識につながったのかもしれませんが、このボランティア活動は、生徒たちにとっても、自分たちは地域の一員であるという意識を高める機会になっていると感じます。本校の教育目標にもある、『郷土を愛し、郷土を育てる生徒』を育てていくためにも、これらの活動は、今後も継続していきたいと考えています。